幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の概要について（令和7年6月6日設置）

ふくウェル

幸福実感共創ラボ

はじめに

福井県の県名は、

1624年に、徳川家康の孫、松平忠昌が

約400年

北庄を「福居」に改めたことに由来

漢字の意味として、福には「しあわせを願う」、

居には「居る、住む場所」の意味がある

▼

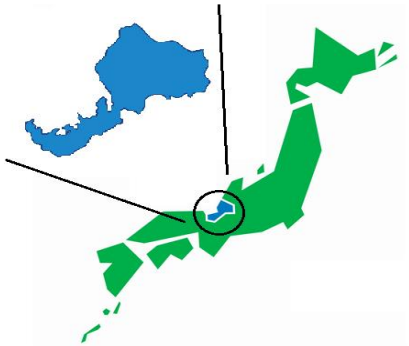
しあわせでいること ≒ Well-being への願い

（良好な状態でいること）

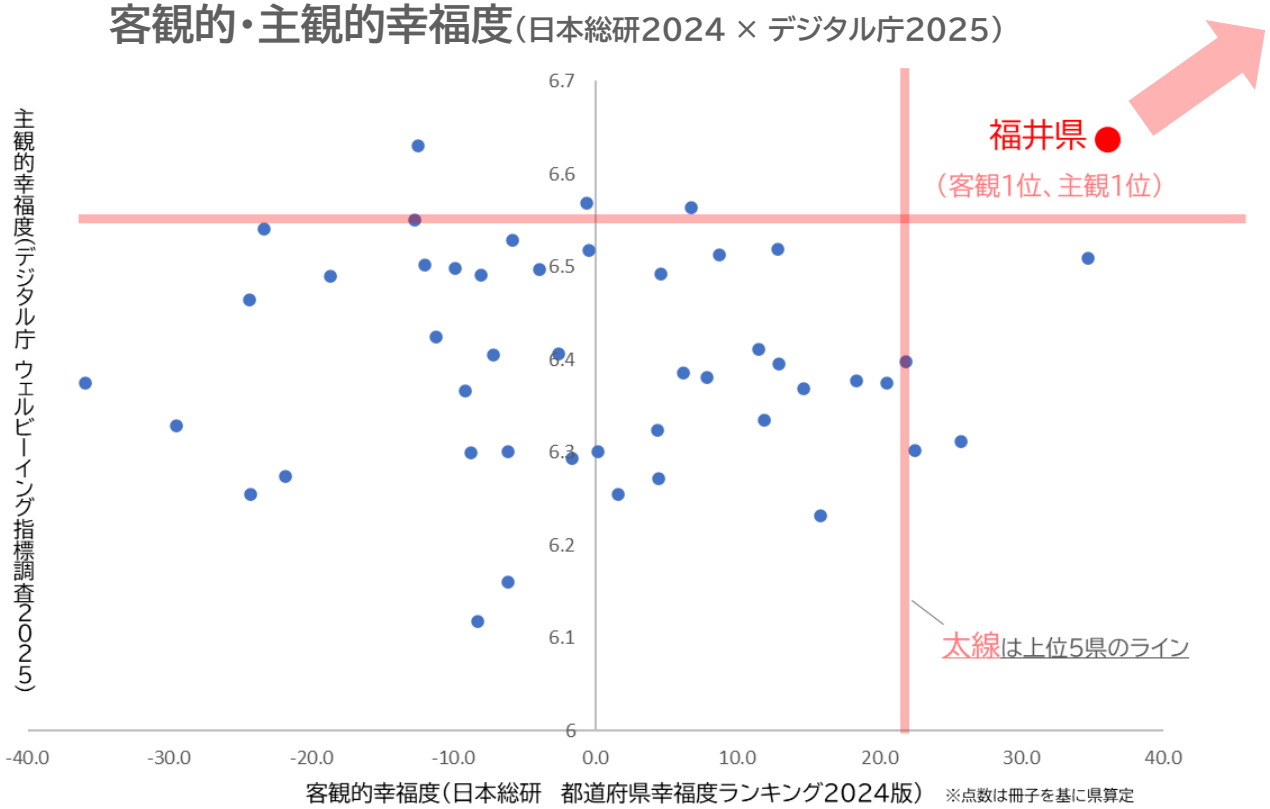
幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の存在意義

客観的な統計データの総合評価にて6回連続12年間日本一に加え、北陸新幹線開業により、県民の幸福実感も躍進

現状にとどまることなく、日本を代表する幸せ実感社会のモデルの実現に向けた開拓者になる。



客観的・主観的幸福度（日本総研2024 × デジタル庁2025）



幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の目的・目標

「幸福度日本一の社会基盤」と「県民一人ひとりの高い幸せ実感」の両方が実現された「日本一の幸せ実感社会」を目指していく。

長期ビジョン（2025.3改定）

○ 基本方向

・**幸福度日本一の社会基盤のもと**、デジタルの力を活用しながら、多様な人材の能力を響き合わせることにより、「一人ひとりのチャレンジとまちの進化の好循環」を生み出します。

・地域の未来への希望をみんなで創ることにより、**県民の持続的な幸せ実感を高め**、若い世代からも選ばれる**「日本一の幸せ実感社会」の実現を目指します**。

○ 総合目標

総　合　目　標	現　状（2024年度）	目指す姿（2029年度）
都道府県幸福度ランキング（（一財）日本総合研究所）	総合1位	総合1位
総合的幸せ実感（県民アンケート）	7.0点（10点満点）	現状値以上
住んでいる地域に愛着や誇りを感じる度合（県民アンケート）	3.4点（5点満点）	現状値以上
合計特殊出生率（人口動態統計調査）	全国8位（1.46）	全国上位
社会増減（転出超過者数）（住民基本台帳移動報告）	△2,607人 ※2023年実績	△2,000人以内

幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の体制

○メンバー

企業・団体、大学、市町、県　５２団体・企業（Ｒ８．１現在）
順次拡大。幸福実感共創ラボの趣旨に賛同いただける企業等が広く参加

○代 表

幸福実感共創コンダクター　福井県知事
（Chief Well-being Conductor ： CWC）

○運 営（専門性を発揮しながら共創を推進）

幸福実感共創ディレクター
飛田章宏　福井県幸福実感ディレクター
高野　翔　福井県立大学准教授
林　譲也　福井経済同友会ウェルビーイング経営委員長・福井厚生病院理事長
朝倉由希　福井県文化振興プラン策定委員長・公立小松大学准教授

ウェルビーイングコーディネーター
大武陽一　医師・公認心理師・産業医
小針　翼　役者、アーティスト、キャリアコンサルタント

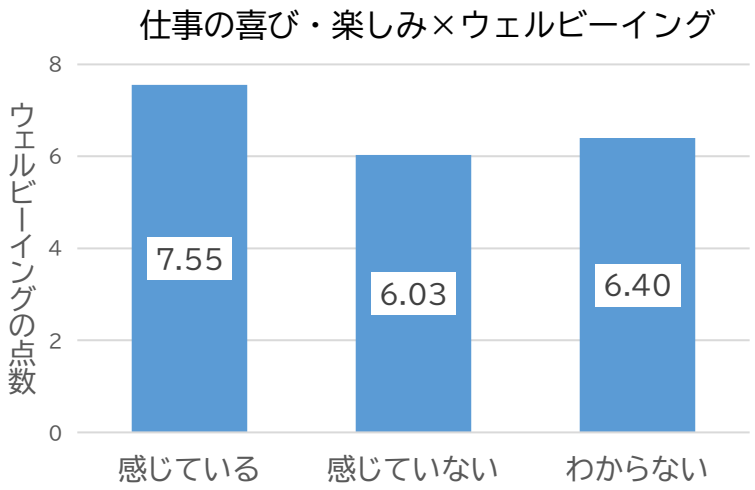
幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の活動

・官民が交流する「出島」的な拠点にて、幸福実感向上の要素・手法の研究や実践的なプロジェクトを創出

①大学等の研究応援

本県をフィールドとする研究を支援（旅費や研究実費）
トライアル枠予算での支援も検討

研究事例



仕事に喜びや楽しみを感じている人ほど幸せ（Ｒ６）
（連携：福井県立大学）

②市町・企業の実践プロジェクトの応援

幸福度日本一の推進に取り組む市町やウェルビーイング経営を実践する企業を支援

実践事例

幸せの一言をブーケトスでつなぐギネス世界記録™挑戦（Ｒ７）
（連携：吉田機工）

③マッチング・相互応援

マッチングにより新しい研究や実践を創出
イベント等の誘客や運営も相互に協力

イベント等事例

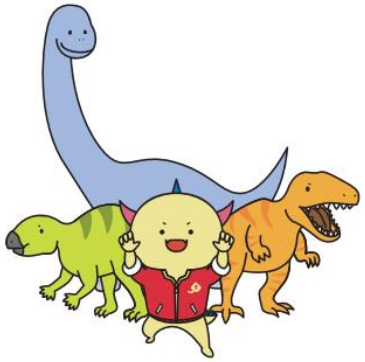
地方創生フォーラムin福井（８/１）
（共催：地域活性化センター）

ふくウェル設置後、半年で約２０のプロジェクトを創出

◆ふくウェルFacebook

◆ふくウェルInstagram

◆ふくウェルnote

◆福井県ホームページ「幸福実感・ウェルビーイング」

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/well-being.html